



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年2月7日

上場会社名 株式会社テレビ朝日ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9409 URL <https://www.tv-asahihd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 早河 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長 (氏名) 齊藤 芳徳

TEL 03-6406-1115

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	238,045	4.6	13,118	41.8	19,638	26.6	19,261	30.6
2024年3月期第3四半期	227,630	0.6	9,249	△30.1	15,510	△25.5	14,751	△3.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 31,044百万円(45.5%) 2024年3月期第3四半期 21,335百万円(133.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	189.54	—
2024年3月期第3四半期	145.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	558,074	448,298	80.0
2024年3月期	520,432	423,577	81.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 446,200百万円 2024年3月期 421,751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2025年3月期	—	20.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期 期末配当40円00銭には、記念配当10円00銭が含まれております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	319,000	3.6	19,000	54.0	26,000	30.5	24,000	40.0	236.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

②①以外の会計方針の変更 : 無

③会計上の見積りの変更 : 無

④修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	108,529,000株	2024年3月期	108,529,000株
2025年3月期3Q	6,902,143株	2024年3月期	6,912,696株
2025年3月期3Q	101,622,635株	2024年3月期3Q	101,610,872株

②期末自己株式数

③期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては【添付資料】P.4「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料は、2025年2月7日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

[添付資料の目次]

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(セグメント情報)	P. 10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかに回復を続けています。

このような経済状況のなか、当第3四半期連結累計期間の売上高はスポット収入が好調なテレビ放送事業セグメントや音楽出版事業、イベント事業が好調なその他事業セグメントの増収などにより、2,380億4千5百万円（前年同期比+4.6%）となり、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が2,249億2千6百万円（同+3.0%）となりました結果、営業利益は131億1千8百万円（同+41.8%）、経常利益は196億3千8百万円（同+26.6%）となりました。また、特別利益において投資有価証券売却益を計上いたしました。以上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は192億6千1百万円（同+30.6%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①テレビ放送事業

地上波の年間（2024年1月～12月）の個人全体視聴率において、当社は全日帯（6時～24時）、ゴールデン帯（19時～22時）、プライム帯（19時～23時）の各時間帯で1位となり、開局以来初の「3冠」を達成しました。また、年間の世帯視聴率においては、2年連続で「3冠」を達成しました。

タイム収入のレギュラー番組のセールスについては、好調な視聴率を背景とした単価増や1社提供ミニ番組の新規決定などによって、前年同期比で増収となりました。また単発番組につきましては、「パリオリンピック」や「世界野球プレミア12」などの大型スポーツ番組のセールスが堅調に推移したため、増収となりました。以上の結果、タイム収入合計は603億3千万円（前年同期比+1.2%）となりました。

スポット収入は、視聴率が好調に推移していることや東京地区の広告出稿量が前年同期を上回ったことなどから増収となりました。業種別では、「食品」「自動車・関連品」「情報・通信」などが好調な一方で、「趣味・スポーツ用品」「外食・各種サービス」「金融・保険」などは減収となりました。以上の結果、スポット収入は680億1千9百万円（同+5.5%）となりました。

また、BS・CS収入は195億9千9百万円（同△0.8%）、番組販売収入は海外向けアニメ販売が好調であったことから109億1千8百万円（同+8.4%）、その他収入は156億1千5百万円（同△6.3%）となりました。

以上により、テレビ放送事業の売上高は1,744億8千2百万円（同+2.3%）、営業費用は1,677億8千万円（同+1.2%）となりました結果、営業利益は67億1百万円（同+41.0%）となりました。

②インターネット事業

無料見逃し動画配信サービス「TVer」等における広告収入や動画配信プラットフォームへのコンテンツ販売などにより、インターネット事業の売上高は218億5千1百万円（前年同期比+7.8%）、営業費用は197億7千4百万円（同+4.3%）となりました結果、営業利益は20億7千7百万円（同+56.8%）となりました。

③ショッピング事業

通販番組「じゅん散歩」が引き続き好調に推移したことや、通販特番「今田耕司の買うならイマダ『おかんと通販してみた!』」や「通販をスクープしてみた!!」が好評を博したことなどにより、ショッピング事業の売上高は153億7千4百万円（前年同期比+4.9%）、営業費用は141億9千6百万円（同+4.4%）となりました結果、営業利益は11億7千7百万円（同+11.6%）となりました。

④その他事業

音楽出版事業は所属アーティストの「ケツメイシ」がコンサートツアーを実施したことなどにより増収となったほか、イベント事業は「The Performance」「EIGHT-JAM FES」などテレビ朝日開局65周年イベントを開催したことなどにより増収となりました。

以上により、その他事業の売上高は373億8千1百万円（前年同期比+13.7%）、営業費用は341億4千1百万円（同+11.3%）となりました結果、営業利益は32億4千万円（同+46.0%）となりました。

報告セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円、％表示は対前年同期増減率)

	売上高		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	
テレビ放送事業	170,546	174,482	2.3%
インターネット事業	20,275	21,851	7.8%
ショッピング事業	14,649	15,374	4.9%
その他事業	32,888	37,381	13.7%
調整額	△10,730	△11,044	—
合計	227,630	238,045	4.6%

(単位：百万円、％表示は対前年同期増減率)

	セグメント利益		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	
テレビ放送事業	4,753	6,701	41.0%
インターネット事業	1,325	2,077	56.8%
ショッピング事業	1,055	1,177	11.6%
その他事業	2,218	3,240	46.0%
調整額	△103	△78	—
合計	9,249	13,118	41.8%

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比376億4千1百万円増の5,580億7千4百万円となりました。これは、現金及び預金が274億4千3百万円減少したものの、有価証券が270億8千8百万円、投資有価証券が196億2千5百万円、建設仮勘定などの増加により有形固定資産の「その他(純額)」が121億8千6百万円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比129億2千万円増の1,097億7千6百万円となりました。これは、繰延税金負債などの増加により固定負債の「その他」が55億5千6百万円増加したことなどによります。また、純資産合計は、前連結会計年度末比247億2千1百万円増の4,482億9千8百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

視聴率が好調に推移していることや東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を上回る水準であることなどから、テレビ放送事業の売上高は前回予想（2024年11月8日公表）を上回る見込です。また、持分法による投資利益が前回予想を上回る見込であることから、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前回予想を上回る見込です。

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	312,000	16,000	22,000	20,000	196.80
今回発表予想（B）	319,000	19,000	26,000	24,000	236.17
増 減 額（B－A）	7,000	3,000	4,000	4,000	
増 減 率（%）	2.2	18.8	18.2	20.0	
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	307,898	12,337	19,919	17,138	168.66

※上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,126	19,683
受取手形及び売掛金	84,029	85,240
有価証券	23,898	50,986
棚卸資産	10,227	12,081
その他	10,094	12,982
貸倒引当金	△76	△74
流動資産合計	175,300	180,901
固定資産		
有形固定資産		
土地	64,664	64,763
その他(純額)	54,977	67,164
有形固定資産合計	119,641	131,927
無形固定資産		
その他	4,863	4,494
無形固定資産合計	4,863	4,494
投資その他の資産		
投資有価証券	202,158	221,784
その他	19,012	19,434
貸倒引当金	△545	△467
投資その他の資産合計	220,626	240,751
固定資産合計	345,131	377,173
資産合計	520,432	558,074
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,537	11,625
その他	59,671	64,086
流動負債合計	68,208	75,712
固定負債		
退職給付に係る負債	10,374	10,235
その他	18,271	23,828
固定負債合計	28,646	34,063
負債合計	96,855	109,776

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,699	36,710
資本剰余金	70,494	70,505
利益剰余金	284,581	297,476
自己株式	△13,598	△13,579
株主資本合計	378,175	391,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,025	51,107
繰延ヘッジ損益	0	24
為替換算調整勘定	1,703	2,063
退職給付に係る調整累計額	1,846	1,890
その他の包括利益累計額合計	43,576	55,086
非支配株主持分	1,825	2,098
純資産合計	423,577	448,298
負債純資産合計	520,432	558,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	227,630	238,045
売上原価	170,886	176,100
売上総利益	56,743	61,945
販売費及び一般管理費	47,493	48,826
営業利益	9,249	13,118
営業外収益		
受取配当金	1,307	1,312
持分法による投資利益	4,768	4,803
その他	331	485
営業外収益合計	6,407	6,601
営業外費用		
固定資産廃棄損	78	57
その他	67	23
営業外費用合計	146	81
経常利益	15,510	19,638
特別利益		
投資有価証券売却益	4,956	8,005
特別利益合計	4,956	8,005
税金等調整前四半期純利益	20,466	27,643
法人税等	5,500	8,110
四半期純利益	14,966	19,533
非支配株主に帰属する四半期純利益	214	272
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,751	19,261

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	14,966	19,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,691	9,841
繰延ヘッジ損益	—	24
為替換算調整勘定	102	6
退職給付に係る調整額	378	65
持分法適用会社に対する持分相当額	1,196	1,572
その他の包括利益合計	6,369	11,510
四半期包括利益	21,335	31,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,121	30,771
非支配株主に係る四半期包括利益	214	272

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	インターネット 事業	ショッピング 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	168,178	18,558	14,638	26,253	227,630	—	227,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,368	1,716	10	6,634	10,730	△10,730	—
計	170,546	20,275	14,649	32,888	238,360	△10,730	227,630
セグメント利益	4,753	1,325	1,055	2,218	9,353	△103	9,249

(注) 1 セグメント利益の調整額△103百万円は、セグメント間取引消去△124百万円、当社における子会社からの収入1,531百万円及び全社費用△1,511百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	インターネット 事業	ショッピング 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	172,025	20,303	15,360	30,356	238,045	—	238,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,457	1,548	13	7,025	11,044	△11,044	—
計	174,482	21,851	15,374	37,381	249,090	△11,044	238,045
セグメント利益	6,701	2,077	1,177	3,240	13,197	△78	13,118

(注) 1 セグメント利益の調整額△78百万円は、セグメント間取引消去△85百万円、当社における子会社からの収入1,555百万円及び全社費用△1,549百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。
なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	7,373百万円	7,166百万円
のれんの償却額	209百万円	一百万円